



いとこ取りをし、自分のなかで自分なりに融合し、目指すべき理想のモデルを形作っていくことが重要ではないかと思えます。もちろん人にはイヤな面もありますが、それは、反面教師にというように、この歳になってもなお、ともに仕事をする上司や仲間から多くを学んでいます。

苦しいときこそ楽観的に

比較的自然体で気張らず働いてきたつもりですが、精神的、肉体的に結構きついなと思う時もちろんなりました。担当していた法案が、公務員を巡る社会情勢の影響もあり、なかなか日の目を見ることのできなかつたことや、女性として初めて職員団体との交渉担当となり、会見の運営に苦労したことなどが思い出されます。そのような時は、つらいつらいと悲観して暗くならず、何とかなるぞの気持ちであきらめずに取り組むことで、周りの方々からの助力も得られ、乗り越えられたと感じています。過去の苦しい経験は、忍耐力を培うのみならず、歳月を経て懐かしい思い出や楽しい自慢話(ー)に化けるものです。

職業生活のなかで、新たな局面に向き合ったときは、やってみることが大切です。私も、人事行政をフランチャイズとして、米国留学や他省出向、地方自治体出向など、新しい世界へのハードルを越える機会が何度もあり、正直躊躇したこともありました。新たな環境に飛び込んだ時は、やはり最初は苦労しましたが、そこで得られた経験や人とのつながりは、慣れた環境に安住していたのでは決して得られない、かけがえのないものになりました。女性ということで、まだまだ与えられる機会の少なかった時代に、チャレンジするよう応援し、背中を押してくれた上司や同僚に感謝しています。やってみれば何とかなるものです。自分の潜在能力を信じて、臆さず与えられたチャンスはつかんでいくことが大切だと思います。

自分をしっかりと持って、あせらず一歩一歩着実に進むことで、道は自ずと開けるものと信じて進んで下さい。

**新たなステップには臆せず
チャレンジ**

**係長・課長補佐時代に
やっていたよかったこと**

米国留学や民間企業の方とのマネジメント研修(1年)の機会を得て、異なる文化や経験を有する人たちと出会えたこと。

**企画官・課長時代に
やっていたよかったこと**

行政の最前線の地方自治体で、霞が関とは異なる様々な仕事を経験し、新たな視点や考え方を得ることができたこと。

座右の銘

「面白きこともなき世を面白く」
ちょっとへこんだときに自分につぶやき、前を向く契機にしています。

気分転換方法

花や野菜を育てたり、運動で汗を流すことに没頭することで、頭を空っぽにする時間を作っています。

**後輩の働く女性への
メッセージ**

気持ちよく働くことのできる人間関係を作ることが、良い仕事をするための基本です。周りの意見にしっかりと耳を傾け、理解する姿勢を大切にすることで、自分の能力を最大限に発揮できる環境を作りながらキャリアアップを目指して下さい。

私は、職場が国家公務員の勤務条件を所管する組織であり、働く環境への意識が高い人々が多かったことから、自ら子育てを経験しなかつたことから、働き続ける上で大きな困難にぶつかったという記憶は正直ありません。したがって、ワーライフバランスの悩みに対して私のできるアドバイスはあまりないのですが、30年余の経験から、働き続ける上で大切だと考えたことに、2,3触れたいと思います。

周りの人から柔軟に学ぶ

職場の人たちと一緒に過ごす時間は結構長いので、仕事を続けて行く上で、彼らを「教材」にすることは効率的でもあります。女性が活躍するためには、ロールモデルの存在が重要であるとよく言われますが、一人の完璧なロールモデルを見つけることは、なかなか難しいものです。男女を問わずワーライフバランスの方法、仕事への取り組み方、人との付き合い方、部下の指導等、様々な面で



【Profile】

昭和59年	人事院採用
昭和63年	長期在外研究員(コーネル大学)
平成4年	外務省国際連合国連政策課
平成6年	人事院給与局給与第二課長補佐
平成9年	人事院任用局企画課人事交流専門官
平成11年	人事院管理局調査職
平成15年	柏市助役
平成18年	人事院職員福祉局国際課長
平成21年	人事院職員福祉局職員福祉課長
平成25年	人事院事務局審議官
平成27年	人事院給与局次長

Message 27

あせらず一歩一歩着実に
歩むことで、
道は自ずと開ける

人事院
給与局次長

松尾 恵美子
まつお えみこ